



[基調講演] 14:30—14:50

「知っておきたい関節リウマチ治療のポイント」

大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学  
病院講師 山田 祐太郎 先生

[一般演題①] 14:50—15:45 (症例報告 5 分、一般演題 6 分、いずれも質疑応答 2 分)  
★は症例報告

座長：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 病院講師 細見 僚 先生

1. 坐骨骨端離開の治療経験

大阪市立総合医療センター 小児整形外科

○牧 修平  
中川 敬介・宅間 仁美・森山 美知子  
北野 利夫

2. ★ 骨粗鬆症性椎体骨折後神経障害に対して balloon kyphoplasty と

顕微鏡下後方除圧術を使用した 1 例

淀川キリスト教病院 整形外科

○谷脇 浩志  
堂園 将・高松 聖仁

3. ★ Covid-19 陽性患者における前腕切断の再接着例

大阪掖済会病院 整形外科

○岡本 幸太郎  
五谷 寛之・田中 祥貴・八木 寛久  
加藤 智哉

4. ★ 前腕骨骨幹部骨折保存治療後手指伸展障害の 1 例

馬場記念病院 整形外科

○河村 真気  
福田 誠 1)・秋津風 琢磨 1)  
橘 拓也 1)・大西 勝亮 1)  
柴田 将伍 1)・安田 匡孝 1)  
久保田 敏文 2)  
1)馬場記念病院 整形外科  
2)市立藤井寺市民病院 整形外科

5. ★ 上腕骨骨幹部骨折に対して Ender 釘で治療した 1 例

清恵会病院 整形外科

○松本 聖志朗  
吉田 玄・吉村 知華・小浪 裕幸  
森 英隆・坂中 秀樹

6. ★ 両側上腕骨近位端骨折に対し、両側ともにリバーズ型人工肩関節置換術を施行した1例  
石切生喜病院 整形外科
- 谷口 聡  
平川 義弘・中島 悠・楊 裕健  
佐々木 亮・鈴木 摩耶・赤井 靖明  
河野 浩

7. 当院での上腕骨近位端骨折への取り組み～髄内釘かプレートか～  
西宮渡辺病院 整形外科
- 河鱈 拓弥  
正田 悦朗・秋野 紘賢・畠中 寿実  
松浦 孝紀・小浪 裕幸・福岡 慎一  
佐々木 健陽・高岡 邦夫

[一般演題②] 15:45—16:50 (症例報告5分、一般演題6分、いずれも質疑応答2分)  
★は症例報告

座長：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 病院講師 西野 壺哉 先生

8. 大腿骨ステム周囲骨折 Vancouver type B1.2 に対する治療成績の検討  
和泉市立総合医療センター 整形外科・人工関節センター
- 金木 克哉  
黒田 貴顯 1)・窪田 直弥 2)  
伊東 祐紀 1)・溝川 滋一 3)
- 1)和泉市立総合医療センター 整形外科・人工関節センター  
2)大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学  
3)大阪社会医療センター附属病院 整形外科
9. 大腿骨近位部骨折患者に対する骨粗鬆症治療と不安定型骨折との関係  
社会医療法人三栄会ツカザキ病院 整形外科
- 寺元 皓太郎  
岡崎 史郎・佐藤 誠久
10. ★ 脊髄梗塞後に生じた異所性骨化により整復に難渋した大腿骨転子下骨折の1例  
済生会千里病院 整形外科
- 佐藤 雅俊  
小山 あかね・伊達 優子・坂口 公一  
安原 良典・庄司 恭之
11. ★ 不安定型大腿骨転子間骨折に対して大転子固定用プレート OLSA® と ASULOCK® を併用した1例  
社会医療法人三栄会ツカザキ病院 整形外科
- 西田 凌  
岡崎 史郎
12. 当院における大腿骨転子部骨折に対する middle nail の適応  
東住吉森本病院 整形外科
- 南谷 尚輝  
寺浦 英俊・谷浦 圭・上野 健太郎  
山本 耕平・大平 千夏・西浦 怜  
井上 裕太

13. 大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績

馬場記念病院 整形外科

○橘 拓也

福田 誠・秋津風 琢磨・河村 真気

大西 勝亮・柴田 将伍・安田 匡孝

14. 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の治療成績 -CPP アプローチを中心に-

馬場記念病院 整形外科

○秋津風 琢磨

柴田 将伍 1)・橘 拓也 1)

河村 真気 1)・大西 勝亮 1)

福田 誠 1)・安田 匡孝 1)・増田 翔 2)

1)馬場記念病院 整形外科

2)大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学

15. ★ 載距突起疲労骨折の一例

大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学

○飯田 健

津本 柊子・西野 壺也・中村 博亮

[特別講演] 17:00-18:00

座長：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 教授 中村 博亮 先生

## 「変形性膝関節症

## ～その予防に向けての再生医療・医療機器開発～」

香川大学医学部 整形外科学講座

主任教授 石川 正和 先生

日整会専門医資格継続単位 1 単位認定 (【N1】整形外科基礎科学、または、【N12】膝・足関節・足疾患)

研究会終了後、意見交換会を予定しております。

### <口演者へ>

※症例報告 5 分、一般演題 6 分です。時間厳守をお願い致します。

※発表機材は PC プレゼンテーション (1 面映写) のみとします。

※演者は、口演 30 分前までに受付で試写してください。

※口演中の画像操作は、演者自身で行ってください。

※次演者は、発表 10 分前までに会場左側の最前席へ着席し、PC の準備をして下さい。

※当日、電子メディアのテキストファイルで作成した抄録 (400 字程度) のデータを受付へご提出ください。E-mail: [gr-med-seikei@omu.ac.jp](mailto:gr-med-seikei@omu.ac.jp) にご提出頂いても結構です。